

# Medical Library 書評新刊案内

## プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト 第2版

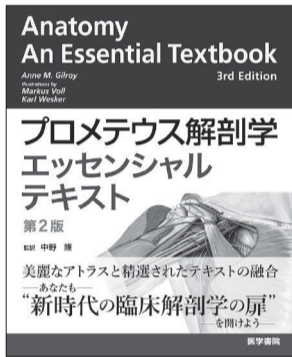
中野 隆 ● 監訳  
中野 隆, 中谷 壽男, 大野 伸彦, 内藤 宗和, 林 省吾, 易 勤, 山岡 薫, 伊藤 正裕, 若山 友彦 ● 訳

A4変型・頁656  
定価:9,680円(本体8,800円+税10%) 医学書院  
ISBN978-4-260-05215-3

評者 本郷 一博  
伊那中央病院院長/信州大名誉教授

愛知医科大学医学部名誉教授の中野隆先生監訳による『プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト』の待望の第2版が刊行された。本書は Anne M. Gilroy 氏により著された Anatomy: An Essential Textbook (3rd Edition) を、単に原書の和訳にとどまらず、豊富な美しくわかりやすいアトラスと監訳者により全編テキストの表現法を統一された読みやすい日本語、さらに監訳者により随所に「監訳者注」として説明を加えられている点、本書の大きな特徴といえる。

### 座右に置きたい解剖学テキスト



れているのも特徴である。各部の終わりには、復習問題が掲載されているが、この内容も単なる解剖の知識を問うものではなく、日常臨床にも大変有益なものである。

「単に原書の和訳にとどまらず」と前述したのは、随所に「監訳者注」が付記されているためである。テキスト、表、BOXの説明、さらには復習問題でも、全ての部にわたり監訳者がきめ細かく必要に応じて説明を追加している。これにより読者は、より正確に発生学の観点からそして臨床医学の視点から、解剖を理解することができる。そして、臨床医学を解剖学の観点からより深く理解できる。これらの内容が、美しいアトラスと共にわかりやすい日本語で記述されていることが、本書の価値を格段に高めているものと思われる。

本書は、このように臨床に即した内容が豊富に盛り込まれているため、解剖学を学ぶ学年の医学生にとどまらず、実際に患者を診る高学年の医学生、さらには臨床医、また医師のみならず、解剖の知識を必要とする看護師をはじめとするその他多くのメディカルスタッフにとっても極めて役立つ有用なテキストであると確信している。座右に置きたい解剖学テキストである。

本書は日本語で書かれた単なる解剖学のテキスト、あるいは解剖学洋書の単なる和訳書とは全く異なる。原書にも大きな特徴があり、第3版は、各部の冒頭に目次が追加され、各章とセクション、そしてその中に表や161項目に及ぶBOXが掲載され、新たな図版が第2版に比して100以上追加され、多くの図版が改訂されている。本書では、オレンジ色で「発生学の観点」、青色で「臨床医学の視点」と色分けしてBOXが挿入されており、単なる解剖学の知識のみでなく、発生学の観点、臨床医学の視点からより深く解剖を理解することができる構成になっている。解剖の内容を理解するのに有用な画像、X線写真、模式図が多く掲載さ

## 学会 SNS ワーキンググループが発足 第21回日本臨床腫瘍学会学術集会の話題より

第21回日本臨床腫瘍学会学術集会(会長=愛知県がんセンター・岩田広治氏)が2月22~24日、「Break the Borders and Beyond—for our patients」をテーマに名古屋国際会議場(名古屋市)にて開催された。本紙では、学会 SNS に関するシンポジウムを報告する。

### ◆ JSMO SNS 元年、欧米学会の活況をめざして

日本臨床腫瘍学会(JSMO)では、広報渉外委員会の下部組織として、専攻医からがん薬物療法専門医まで幅広い世代のJSMO会員から成る「SNSワーキンググループ(SNS-WG)」が2023年4月に発足。会員のSNS利用を活発にするための環境整備、医学生・研修医や一般市民に向けた腫瘍内科・JSMOの認知度向上、JSMOの国際化を主目的として活動している。委員会企画「SNS-WGシンポジウム」(司会=滋賀県立総合病院・後藤知之氏)では新たな試みとして、写真撮影・SNS投稿(ハッシュタグ:#JSMO2024)を推奨する形で開催された。

「JSMO SNS 元年」と題して登壇した山口祐平氏(名古屋医療センター)は学会としてのSNS利用指針の作成など、WGのこれまでの活動を報告した。さらに現在進行中のプロジェクトとして、SNSへの学会発表スライド投稿許可申請の準備を進めていることを表明。「米国臨床腫瘍学会(ASCO)・欧州臨床腫瘍学会(ESMO)では当たり前となった光景をJSMOでも実現したい」と抱負を語った。続いて上原悠治氏(都立駒込病院)がアカデミアにおけるSNSの使い方を考察した。SNSを活用するメリットとしては①最新情報アップデート、②自らの研究内容の認知度向上、③新たなコネクションの形成、④患者・市民参画の促進、⑤若手リクルートの5点を提示。特に③については、海外の学会では参加者バッジにXのハンドルネームを記載することが推奨され、学会終了後も関係性の維持につながったという実体験を語った。

最後に登壇したのは、本邦での学会公式SNSの黎明期にある2018年より日循の情報広報部会副会長としてその活動を牽引してきた岸拓弥氏(国際医療福祉大)。日循X公式アカウント(ID:@JCIRC\_IPR)のフォロワー数は国内学会最大級の約2万人に達し、SNS活動の効果を検証する多数の解析論文も発表している。さらに今年、演者許諾を得た発表については学術集会参加者は誰でも撮影可能になるよう指針を改訂。実現すれば日本医学系学会初となる。岸氏はこれらの成果と同時に、学会SNS運用の限界や注意点にも言及。「誰に、何を伝えたいのか」「どの時点の何の数字で効果判定をするのか」を明確にすることが肝要であり、後者について日循の場合はガイドラインのダウンロード数をエンドポイントにしていることを明らかにした。

3人の演者の口演のあとは、尾崎由記範氏(がん研有明病院)、高見澤重賢氏(NTT東日本関東病院)も加わり、個人がSNSを運用する意義や学会



●写真「SNS-WGシンポジウム」の様相

SNSの在り方が議論された。SNSを運用する上では著作権や個人情報保護に配慮する必要があり、特に後者については「患者が特定される恐れがあるため、症例報告は投稿しない」といったTipsも共有された。岸氏からは、学会WGのこれまでの活動を評価した上で、「とにかく真面目に、継続的に」とエールが贈ら

### ●「週刊医学界新聞」の名称および発行形態変更のお知らせ

弊紙は2024年4月より週刊発行から月刊発行(毎月第2火曜日発行・2色刷16頁建)に変更いたします。これに伴い、名称を「医学界新聞」と改めます。初回発行は2024年4月9日を予定しております。これからも、日本の医学・看護領域における最新の知見を、公正に、的確に伝えるよう努めてまいります。引き続き、ご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 3 medicina Vol.61 No.3

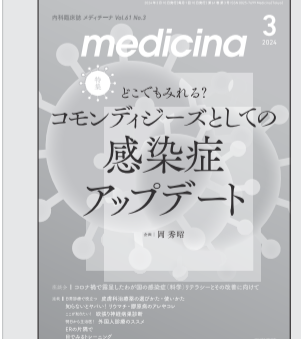
### どこでもみれる? コモンディーズとしての感染症アップデート

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)はワクチンや治療薬の開発により死亡率が大きく減少したが、依然として流行を繰り返しており、もっともよく見かけるコモンディーズとなった。また、インフルエンザやその他の感染症の同時流行もみられ、プライマリ・ケアにおける感染症診療の比重は依然大きいままである。本特集では、COVID-19を含む数々の感染症に対し、プライマリ・ケアの現場で質の高い診療が提供されることを目的に企画した。

- INDEX 座談会 コロナ禍で露呈したわが国の感染症(科学)リテラシーとその改善に向けて
- 第1章 どこでもみれる? 5類感染症
- 第2章 感染症新薬アップデートと感染症
- 第3章 コモンディーズと感染症アップデート
- 第4章 ガイドラインアップデート
- 第5章 ワクチンアップデート
- 第6章 ブレイクスルーと感染症
- 第7章 新型コロナミミック

▶ 来月の特集(Vol.61 No.5) 腎機能を考慮した内科疾患の診療 企画:杉本俊郎(滋賀医科大学総合内科学講座)

医学書院サイト内各誌ページにて記事の一部を公開中!



### 総合診療

え、ウソ! 実は〇〇だった!? “コモンディーズ”の診断ピットフォール

企画: 鋪野紀好 (千葉大学大学院医学研究科地域医療教育学/千葉大学医学部附属病院 総合診療科)

一般内科・総合診療外来では、幅広い疾患への適切な対応が求められる。なかでも「コモンディーズ」は、日常病とも呼ばれるが、ごく初期の非特異的の症状から非典型的の症状まで、そのイリュースクリプトは実は多彩だ。病初期や非典型的の症状でもタイムリーに診断できるよう、「当初の診断」から「最終診断」に至る「診断推論」のプロセスを言語化した。

INDEX

- ①「Wernicke脳症」かと思ったら…!? : 松本貴文・志水太郎
- ②「脳梗塞」かと思ったら…!? : 関隆実・小坂鎮太郎
- ③「単なる椎骨動脈解離」かと思ったら…!? : 保科耀司
- ④五月病!? 仕事はストレスじゃありません! : 鈴木森香
- ⑤「椎骨動脈解離による一過性脳虚血発作」かと思ったら…!? : 藤井真理
- ⑥「過換気症候群」かと思ったら…!? : 松尾裕一郎
- ⑦「肺塞栓症」かと思ったら…!? : 森川暢
- ⑧「急性低音障害型感音難聴(ALHL)」かと思ったら…!? : 折原史奈・松本朋弘
- ⑨「頸椎症」かと思ったら…!? : 鋪野紀好
- ⑩「関連痛には騙されないぞ!」と思っていたけど… : 佐々木陽典
- ⑪「非特異的腰痛」が最も多いが…!? : 山本祐
- ⑫「蜂窩織炎」かと思ったら…!? : 齊藤琢真・綿貫聡
- ⑬「変形性膝関節症」かと思ったら…!? : 木村浩史・鶴木友都
- ⑭「尿路感染症」かと思ったら…!? : 久保崎順子・國友耕太郎
- ⑮「薬剤性浮腫」かと思ったら…!? : 田村弘樹
- ⑯これセット「ACNES」でしょう! 間違いないよ! 間違いないよ! : 二重あることは三度ある : 青山彩香
- ⑰「中年女性の“kissing disease”」…!? : 中島浩一
- ⑱「膠原病・筋炎疑い」で引継いだけど…!? : 本郷舞依
- ⑲「流行性筋痛症」かと思ったら…!? : 西澤俊紀
- ⑳「かぜ」という言葉で見落とされる感染症 : 高橋宏瑞
- ㉑若年女性の腹痛 : 河東堤子
- ㉒症状・所見は常に非特異的…!? : 大塚勇輝・大塚文男
- ㉓「適応反応症」かと思ったら…!? : 飯塚玄明
- ㉔突然発症の「更年期障害」…!? : 徳島緑・多胡雅毅

▶ 来月の特集 (Vol.34 No.4) 困ったときの漢方 この症状に役立ちます! 企画:鈴木富雄(大阪医科大学総合診療科)

どこでもみれる? 企画:岡 秀昭(埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科・感染症科)

どこでもみれる? コモンディーズとしての感染症アップデート

● 日常診療で役立つ皮膚科治療薬の選びかた・使いかた

● ERの片隅で

● 明日から主治医! 外国人診療のススメ

● ここが知りたい! 欲張り神経病診断

● 知らないとかばい! リウマチ・膠原病のアレやコレ

● 目でみるトレーニング

● 1部定価:2,970円(税込)

● 2024年増刊号(Vol.61 No.4) 内科医のための臨床問題集 ● 特別定価:6,160円(税込)

ジェネラルに診ることが求められる時代の臨床誌

## 総合診療

Vol.34 No.3

### え、ウソ! 実は〇〇だった!? “コモンディーズ”の診断ピットフォール

企画: 鋪野紀好 (千葉大学大学院医学研究科地域医療教育学/千葉大学医学部附属病院 総合診療科)

一般内科・総合診療外来では、幅広い疾患への適切な対応が求められる。なかでも「コモンディーズ」は、日常病とも呼ばれるが、ごく初期の非特異的の症状から非典型的の症状まで、そのイリュースクリプトは実は多彩だ。病初期や非典型的の症状でもタイムリーに診断できるよう、「当初の診断」から「最終診断」に至る「診断推論」のプロセスを言語化した。

INDEX

- ①「Wernicke脳症」かと思ったら…!? : 松本貴文・志水太郎
- ②「脳梗塞」かと思ったら…!? : 関隆実・小坂鎮太郎
- ③「単なる椎骨動脈解離」かと思ったら…!? : 保科耀司
- ④五月病!? 仕事はストレスじゃありません! : 鈴木森香
- ⑤「椎骨動脈解離による一過性脳虚血発作」かと思ったら…!? : 藤井真理
- ⑥「過換気症候群」かと思ったら…!? : 松尾裕一郎
- ⑦「肺塞栓症」かと思ったら…!? : 森川暢
- ⑧「急性低音障害型感音難聴(ALHL)」かと思ったら…!? : 折原史奈・松本朋弘
- ⑨「頸椎症」かと思ったら…!? : 鋪野紀好
- ⑩「関連痛には騙されないぞ!」と思っていたけど… : 佐々木陽典
- ⑪「非特異的腰痛」が最も多いが…!? : 山本祐
- ⑫「蜂窩織炎」かと思ったら…!? : 齊藤琢真・綿貫聡
- ⑬「変形性膝関節症」かと思ったら…!? : 木村浩史・鶴木友都
- ⑭「尿路感染症」かと思ったら…!? : 久保崎順子・國友耕太郎
- ⑮「薬剤性浮腫」かと思ったら…!? : 田村弘樹
- ⑯これセット「ACNES」でしょう! 間違いないよ! 間違いないよ! : 二重あることは三度ある : 青山彩香
- ⑰「中年女性の“kissing disease”」…!? : 中島浩一
- ⑱「膠原病・筋炎疑い」で引継いだけど…!? : 本郷舞依
- ⑲「流行性筋痛症」かと思ったら…!? : 西澤俊紀
- ⑳「かぜ」という言葉で見落とされる感染症 : 高橋宏瑞
- ㉑若年女性の腹痛 : 河東堤子
- ㉒症状・所見は常に非特異的…!? : 大塚勇輝・大塚文男
- ㉓「適応反応症」かと思ったら…!? : 飯塚玄明
- ㉔突然発症の「更年期障害」…!? : 徳島緑・多胡雅毅

▶ 来月の特集 (Vol.34 No.4) 困ったときの漢方 この症状に役立ちます! 企画:鈴木富雄(大阪医科大学総合診療科)